

## 2009（平成 21）年度活動報告

### 組織の状況

会員総数：81（2010年3月末日現在）

地域組織会員	名 称	分担金口数（所属会員数）		
	吉川日中友好協会	1口	（40人）	
	新発田市日中友好協会	2口	（16団体；55人）	
	栃尾日中友好協会	2口	（65人）	
	中之口日中友好協会	1口	（25人）	
	いわふね国際交流協会	1口	（14団体；62人）	
	新潟県日中友好協会上越支部	2口	（50人）	
	小計	6地域組織（9口）		
直属会員	地域区分	会員数	団体会員数 （会費口数）	個人会員数
	下越地区		25団体（34.5口）	新潟市 40人 その他 2人
	中越地区		1団体（1口）	3人
	上越地区		1団体（2口）	3人
	小計		27団体（37.5口）	48人
合計	6地域組織（9口）		27団体（37.5口）	48人
	全県（地域組織会員を累計）：57団体；345個人			

### 会議開催経緯

#### 〔1〕第一回理事会

開催期日：2009年4月27日

会 場：新潟商工会議所中央会館

出席者数：26名（うち、委任状出席者14名）

議 事：以下のとおり

- 1) 2009年度事業計画について
- 2) 理事会・総会の日程等について

#### 〔2〕第二回理事会

開催期日：2009年5月26日

会 場：新潟国際友好会館

出席者数：26名（うち、委任状出席者13名）

議 事：以下のとおり

- 1) 2009年度総会に付議する事項の事前審議
  - (1)2008年度活動報告案と決算案について
  - (2)2009年度活動計画案と予算案について
  - (3)理事の一部異動に伴う理事の選任について
  - (4)顧問の一部異動に伴う顧問の選任について
- 2) 2009年度総会の日程・運営等について
- 3) 創立30周年記念行事実施要領等について

### 〔3〕2009年度総会

開催期日：2009年6月28日

会 場：ANAクラウンプラザホテル新潟

出席者数：108名（うち、委任状出席者74名）

議 事：以下のとおり

- 1) 2008年度活動報告と決算並びに財産目録・貸借対照表の承認
- 2) 2009年度活動計画案と予算案の承認
- 3) 理事の一部異動に伴う理事の選任
- 4) 顧問の一部異動に伴う顧問の選任

### 事業実施の方針

2008年5月30日に黒龍江省政府により交流貢献団体表彰を受けたこと、及び、新潟県日中友好協会創立30周年を記念し、黒龍江省の生態環境回復・保全、民生安定、地域経済の向上に資する新たなプロジェクトに取り組みました。

### 特定非営利活動に係る事業

#### 情報の発信

##### 〔1〕インターネットによる情報の発信

- 1) 新潟県日中友好協会のWebサイト（継続）

協会の組織概要、活動履歴、活動報告等を発信しました。

<http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/>

- 2) 新潟県日中友好協会のブログサイト開設（新規）

##### 【創立30周年記念事業】

黒龍江省との交流・協力関係の促進に資することを目的に、同省の社会経済情勢をデータベース化し、発信しました。

<http://njcfa.exblog.jp/>

- ・掲載記事数：427件（2009年4月～2010年3月）
- ・月間ページビュー数：620（平均）

## “新潟と中国・黒龍江省友好協力関係 30 周年” 記念式典の実施

### 【創立 30 周年記念事業】

創立 30 周年を記念し、2009 年度総会終了後に次の行事を実施しました。

参加者数：60 人（うち会員 39 人）

### 〔 1 〕プレゼンテーション

テーマ：中国・黒龍江省との友好交流協力 30 年の歩み

1) “三江平原龍頭橋ダム建設プロジェクト 経緯と現状・課題及び提  
言”

2) “拜泉県富榮村新農村建設協力事業実行可能性調査” について

### 〔 2 〕記念講演

講 師：駐日中国大使館二等書記官 呉 永剛

テーマ：黒龍江省と新潟の地方間交流 そして中国総領事館の新潟開設

### 〔 3 〕“新潟と中国・黒龍江省との友好協力関係 30 周年交流の歩み” の発行・頒布

創立 30 周年を記念し、上記の写真記録誌を発行・頒布しました。

体 裁：A4 版 31 ページ カラー印刷

印刷部数：200 部

頒 布 数：68 部

## 草の根レベル協力事業の実施並びに検討

### 〔 1 〕“新潟県・黒龍江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業” の実施

#### 【創立 30 周年記念事業】

哈爾濱市双城区杏山鎮順利村（黒龍江省が指定する新農村建設村）における循環型農業の発展に向け、農牧業廃棄物等の有効利用に係る技術の確立と普及を促進するための技術協力（第一年次）を行いました。

事業スキーム：JICA 草の根技術協力事業（地域提案型）

実施期間：2009（平成 21）年度～2011（平成 23）年度

対象地域：中国黒龍江省哈爾濱市双城区杏山鎮順利村

受益者層：現地資源循環型農村構築関係者及び順利村農牧業従事者（約 2,300 人）

事業の背景と必要性：プロジェクトサイトである双城市は農業と牧畜業が発達し、主な農産物はトウモロコシ、コムギなど、食糧総生産量は 150 万トンであり、黒龍江省でも主要な食糧生産地である。しかし、近年の急速な農業と牧畜業の発展により、現地では、収穫後の茎やワラなどの廃棄物の焼却や家畜の糞尿の不適切な処理などによる環境汚染の問題に直面している。そのための対策として環境負荷の少ない資源循環型の農村環境構築のための技術が必要とされている。

事業の目的：双城区において環境負荷の低い循環型農村環境を構築する技術のガ

イドライン普及計画が整備されることを目的とする。

活動及び期待される成果： 問題点の把握・分析により改善策が検討される。  
実証試験により、堆肥化、炭化およびメタン発酵による環境改善策の適用可能性が現地において実証される。  
循環型農村環境構築ガイドラインが取りまとめられる。  
日本における技術研修により、中国側関係者が循環型農村環境構築技術を習得する。

事業の実施体制：以下のとおり

日本側 = “新潟県黒龍江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業推進協議会” (新潟県農業総合研究所、新潟大学農学部及び新潟県日中友好協会)

現地側 = “黒龍江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業推進協議会” (東北農業大学、黒龍江省科学技術庁及び双城区杏山鎮順利村)

事業実施実績：以下のとおり

[ 県専門家派遣 ] 人数：5名

時期：2009年5月(8日間)

[ 省研修員受入 ] 秦 智偉(東北農業大学副校長)

他、計5名

時期：2009年8月(10日間)

[ 県専門家派遣 ] 人数：5名

時期：2009年9月(8日間)

派遣専門家は下記の5名

- ・堀 秀隆(新潟大学教授)
- ・高橋 能彦(新潟大学教授)
- ・梅河 東生(新潟大学助教)
- ・小柳 涉(県畜産研究センター主任研究員)
- ・春日 健一(新潟県日中友好協会理事長)

## (2) 斎斎哈爾市拜泉県豊産郷富榮村新農村建設協力事業の実施

### 【創立30周年記念事業】

#### 1) 実行可能性調査ミッションの派遣

拜泉県豊産郷富榮村(黒龍江省外事弁公室が省政府により支援を指定された地域)における新農村建設計画に係り、新潟県日中友好協会が協力可能な分野とその実行可能性を見極めるため調査ミッションを派遣しました。

ミッション構成：下記2名

・春日 健一(新潟県日中友好協会理事長)

・中村 昭一(新潟県日中友好協会理事・吉川日中友好協会理事)

時期：2009年10月19日～10月26日

関係機関：以下のとおり

新潟...新潟県日中友好協会・吉川日中友好協会  
黒龍江省...黒龍江省外事弁公室・拜泉県政府・豊産郷政府・富榮村  
村民委員会

## 2) フォローアップの実施

上記調査ミッションの結果を踏まえ、富榮村の農業生産に係り以下のとおり  
提言しました。

期 日：2010年1月28日

場 所：新潟市

提言相手：黒龍江省外事弁公室

提言の主題：半乾燥・緩傾斜耕作地における雨水・地表水及び土壌深部水分の有  
効利用策

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Presentation.pdf>)

提言の内容：下記のとおり

“集雨蓄水灌漑モード”...耕作地以外(道路・農道等)の降水を貯留し灌漑に  
利用する方法

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Material-1.pdf>)

“壟向区田技術”...畝間に階段状の窪地を形成し貯留する雨水を灌漑水とし  
て利用する方法

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Material-2.pdf>)

“保護性耕作技術”...作物の葉柄・茎等によって地表を覆い雨水の貯留量  
を高めるとともに土壌中の水分蒸発散を抑制して早魃を防ぐ方法;高深度耕耘  
により耕盤を破壊し土壌深部水分の地表部への上昇を促して早魃を防ぐ方  
法

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Material-3.pdf>)

“地下地膜截水”技術...農業用ビニルを耕作地の傾斜方向と直角に埋め込み  
緩傾斜耕作地の上部から下部に流下する土壌中の水分を遮断・貯留して早魃  
を防ぐ方法

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Material-4.pdf>)

“膜下滴灌”技術...畑地にドリップ灌漑システムを敷設したうえでマルチン  
グを施す栽培方法

(参照 <http://www.niigata-inet.or.jp/njcfa/Material-5.pdf>)

## 政治・経済・文化芸術・人事など各分野にわたる交流の促進

(1) “黒龍江省三江平原龍頭橋ダム・牡丹江視察の旅”派遣

### 【創立30周年記念事業】

上越地域と黒龍江省との友好関係発展を目的に、上越支部会員等からなる  
黒龍江省訪問団を派遣しました。

団 構 成：鎌田 佳和(新潟県日中友好協会常任理事)他、計18名

日 程：2009年7月1日～7月5日

訪問地：双鴨山市宝清県・龍頭橋ダム～牡丹江市～哈爾濱市呼蘭区康金鎮  
関係機関：以下のとおり

新潟...新潟県日中友好協会上越支部、新潟県日中友好協会  
黒龍江省...黒龍江省外事弁公室

〔2〕新潟・哈爾濱友好都市提携30周年記念実行委員会への参画

新潟市と哈爾濱市との友好都市提携の経緯（黒龍江省外事弁公室並びに中日友好協会の提案を受け、新潟県日中友好協会が仲介の結果締結された）を踏まえ、提携30周年記念事業に参画しました。

実行委構成：新潟哈爾濱友好市民の会・新潟市太極拳協会・新潟市国際交流協会・新潟市・新潟県日中友好協会

主事業：1) “金上京歴史博物館所蔵文物展”

（新潟市歴史博物館 9月12日～11月9日）

2) 30周年記念交流会

（オークラホテル 9月11日）

3) 「友好の翼」市民友好団

（哈爾濱市訪問 11月15日～11月18日）

関係機関・友好団体との連携

以下の団体等が主管する事業に参加し、中国との交流促進に努めました。

- 1) 中国総領事館新潟誘致促進協議会
- 2) 新潟県トキ保護募金推進委員会
- 3) 環日本海経済研究所（ERINA）
- 4) 新潟県国際交流協会
- 5) 新潟・哈爾濱経済技術交流促進協会
- 6) 新潟市国際交流協会
- 7) 新潟・哈爾濱友好市民の会
- 8) (社) 日中友好協会
- 9) 新潟県対外科学技術交流協会

**収益事業**

実施した収益事業はありません。